



e-La Voz

「エー・ラ・ボス」と読みます

HCJB『アンデスの声』
日本語放送
メールマガジン
(第12号)

2003年11月1日発行

晩秋のシカゴより

光と色の織りなす美しさに目をみはった紅葉も、冷たい北風が吹きはじめると枯れ色を深め、通りや芝生には落葉が目立つようになりました。北半球に移り住んだおかげで、赤道直下のエクアドルでは経験できなかった季節の変化をたのしんでいます。ミシガン湖をひかえたシカゴは<ウインディ・シティ>と呼ばれるほど空っ風も強く、夏冬ともに厳しい気候だといわれています。そのことを地元の人に確かめると「うわさ通りだよ。しかしね、もしシカゴのお天気が気に入らなければ、数時間待つことだよ。君の気持ちもお天気もすぐに晴れることもまた確かだよ。」という返事がもどってきました。

風に舞う木の葉の風情を眺めているうちに、我家の庭に散りつもった落葉が気になりはじめ、小春日和のある朝、ついに竹箒をもちだし庭掃除に挑戦。二時間後には掃き寄せた小山が数ヶ所にでき、日本ならサツマイモをほうり込んで<落葉焚き>で一息。ところが、ここでそんなことをしたら、サイレンもけたたましく市の消防車がかけつけ、多額の罰金をとられるとのこと。集めた葉っぱは専用の特大紙袋に入れてオレンジ色の市当局認可ステッカーを貼って出してあげば、毎週金曜日に収集車もって行ってくれます。垣根もブロック塀もない住宅が芝生でつながって並んでいるので、通りに面した前庭で風に吹かれて飛び散る葉っぱは、おかまいなしに隣へ、順ぐりに隣からはこちらへ。逆風ならまた戻っていくといった具合でその日の風向きで行きつ戻りつをくりかえしています。でもこれもお互い様なので誰も文句をいう人はいません。ひさしぶりの肉体労働で手にまめができ、腰が痛くなりましたが、時々手をやすめて子供にかえて紅葉狩り。そのとき、ふと見上げた木に一枚の葉だけが、オー・ヘンリー(1862-1910)の短編<最後の葉>よろしくぶらさがっていたので、いそいでデジカメをとりにもどって散る寸前の劇的瞬間をばっちりとらえました。



この物語には、重病の少女と老画家が登場します。彼女は窓から見えるレンガ壁に這いあがる蔦が冷たい秋風に葉を落としていくさまをみながら、最後の一枚が落ちると自分も人生の終わりがくるのだとあきらめています。ところが、はげしい嵐が夜の間にじゅう吹き荒れたにもかかわらず、翌朝窓をあけてみると、そこにはまだ最後の一枚がはっきりと残っていたのです。それを見た彼女はすっかり勇気付けられます。おかげで危機を脱して病状を回復した彼女に階下に住む老画家の死が伝えられます。あの最後の一枚が散った嵐の夜、靴も服もびしょびしょになりながら老画家は寒さでふるえる手で壁にその一枚を描いたのでした。生涯をかけた最後の傑作が少女に生きる希望を与えたのです。

「おかげさまで」という表現をわたしたちは日常茶飯事使っています。人間知らず知らずのうちにどんなに他人に助けられているかわかりません。わたしたちはひとりで生きていくことはおろか、根本的に自然の恩恵なくして生き続けることは不可能な存在です。宇宙に無数にある惑星のなかで、この青くかがやく地球だけが生命の息吹を謳歌しているのだとすれば、生きていることの不思議さをもっと厳粛にとらえなければならぬのかも知れません。「生きているのではない。生かせていただいているのだ」、「二本ある手のどちらかは誰かのために使えるように...」これが永六輔さんの父親の口癖だったそうです(「無償の仕事」講談社)。どんな環境におかれた場合でも、思いがけない事柄に直面したときでも、上を向いて全知全能の創造主に感謝をささげ、どんな人たちに囲まれていようと、まわりの人たちへは愛に根ざした気づきや心かけ。このタテとヨコの線をしっかりと結ぶことができれば、不透明ではげしく変動する国内、国際情勢のなかで自分なりの軸をもった安定した「生き方」ができるのではないのでしょうか。

地上を去る前に主イエスは弟子たちに次のように言われました。

「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです。人がその友のためにいのちを捨てるといふ、これよりも大きな愛はだれも持っていません。」(新約聖書ヨハネの福音書15章12, 13節)

HCJB日本語放送担当

在 主 尾 崎 - 夫 久 子

【訂正】

前号でご案内した門田得三監督によるドキュメント映画「ドバルダーン！エレファント」のお問い合わせ先に誤りがありました。

正しいお問い合わせ先：

ぞうの輪 電話・FAX 0424 - 93 - 3074
門田(モンデン)宅
〒204 - 0023 東京都清瀬市竹丘3 - 1 - 72 B408

このメールマガジンは、HCJB日本語放送の管理するメール・リストに登録されている方に無料でお送りしています。

このメールマガジンをご覧になってのご感想やご意見、ご要望などは、[HCJB日本語放送](#)までお送りください。

また、このメールマガジンの配信停止、配信先変更、あるいは新規ご登録は、下の該当ボタンを選択し、必要事項をご記入の上、[この内容で送信する] ボタンをクリックして、手続きをお願いします。なお、**Netscape 6.2以降をお使いの場合、このメールマガジンに埋め込まれているご登録手続きの機能はご利用いただけません。**ご面倒ですが、[HCJB日本語放送](#)まで別途メールにてお知らせください。

配信の停止 (**重要:必ず現在メールマガジンの配信登録されているメールアドレスからご送信ください。**)

配信変更先のメールアドレス
(**重要:必ず現在メールマガジンの配信登録されているメールアドレスからご送信ください。**)

新規登録するメールアドレス

お送りいただいた内容はメールリスト・サーバにより自動的に処理しますので、余分な内容は一切入れないでください。
このメールマガジンはコンテンツが大きいので、携帯電話への配信はできません。

Copyright © 2003 by HCJB. All rights reserved.



日本語ホームページ: <http://www.hcjb.org/japanese/>

Eメール: kozaki@hcjb.org

郵便の宛先:

Mr. & Mrs. Kazuo Ozaki

1920 Berkshire Pl., Wheaton, IL 60187-8050, U. S. A.
